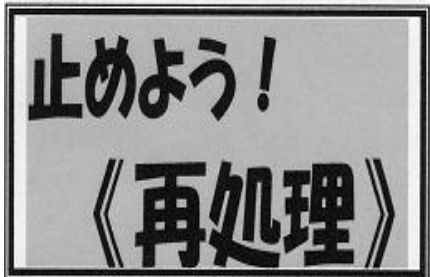


**三陸の海を放射能から守る**  
**岩手の会** (略称) **三陸の海・岩手の会**  
 郵便振替 02240-5-102650  
 ホームページ 《再処理/岩手の環境》  
<http://sanriku.my.coocan.jp/>  
 《本紙の全バックナンバー掲載》



《**天恵の海**》  
 2015(平成27)年  
 8月10日  
 第157号  
 編集事務局 S.Oshida  
 TEL・FAX 019-623-1636

# 九州電力が、原子力規制委員会へ計画書提出 川内原発 8月11日 再稼働「準備」 『稼働ゼロ中断』は『原発事故に怯える日本』への逆戻り

**九州の事故は日本全土を直撃**  
 台風の進路と放射能雲の進路は同じ…  
 福島原発の放射能の8割は太平洋に落ちたが  
 川内原発は日本を全滅させる!!

全国紙によると、九州電力は「川内原発を八月一〇日にも再稼働させる」とする計画を七月三十一日、原子力規制委員会に報告しました。川内原発は日本中央構造線の西の端にあり、桜島や阿蘇山が噴煙を上げ、口之永良部島で大噴火が起こっています。昨年七月、法に基づく老朽化への審査がなされないうまま三〇年を越した1号機は、現実に危険な状態にあります。現地鹿児島県や近接県では、再稼働阻止の住民の集会やデモが高まりを見せ、首都圏をはじめ全国各地で反対行動が起っています。規制委員会は、八月五日、「高経年化補正審査」を十分な審議もなく通過させました。七日、一九七三人の市民が「異議申し立て」の手続きを行い、九日、約二千人が川内原発前集会を行いました。



上図 広瀬隆氏資料  
 左写真と出力 九州電力 ホームページ

**九州電力・川内原発**  
 鹿児島県薩摩川内市久見崎町  
 1号機 89万KW 1984. 7. 4 運転開始  
 2号機 89万KW 1985.11. 28 運転開始

**川内原発再稼働への動きと反対運動(抜粋)**  
 ◆2014.7.3 法に基づく「高経年化評価・保守計画」ないまま、1号機運転開始30年を経過。規制庁「審査終了しなくても申請が間に合えばよし」と強弁。  
 ◆7. 29 川内原発・規制基準適合審査終了  
 ◆2015.4.22。周辺6市町村議会、川内原発事故避難計画について九州電力へ説明会を求める陳情採択。  
 ◆5.27 規制委員会「火山モニタリング」保安規定認可  
 ◆7.7~10九州電力 1号機に核燃料装荷を強行  
 ◆7.8 原発労働者被曝限度を「250mSv(緊急時)」に引き上げ審査。  
 ◆7.13 規制委員会補正審査会合 「主給水系配管の疲労累積係数は許容量1に対して0.991」と発表。  
 ◆7.23 市民513名、「火山モニタリング」保安規定認可へ異議申し立て提出。  
 ◆7.31 九州電力 「1号機を8月10日にも再稼働させる計画」を原子力規制委員会に報告。  
 ◆8.5 規制委員会「高経年化補正審査」と「作業員被曝限度250mSv/緊急時」を承認。抗議の市民1973人が連名し異議申し立て書提出(7日)。

鹿兒島県現地では、川内原発再稼働を絶対に許さない!という声が日に日に高まっています。原発のある久見崎海岸での集会や鹿児島市はじめ各地で集会やデモが呼びかけられています。

東京では「ノー・ニユークス・デイ反原発統一行動」などが、首都圏での集会やデモを呼びかけています。さらに飛行機を2便チャーターし川内現地集会への合流を企画しています。責任な政治が、国の存亡に関わる大事故を引き寄せます。塗炭の苦しみを受けるのは国民です。

**この国を破滅に追いやるな!**  
**川内原発ゲート前大行動**  
**8月7~10日**

**東京でも大行動**  
**九電東京支社前集会**  
**首相官邸前集会**



**一口1000円カンパを!**  
 ○加入者名  
 川内原発を再稼働させない基金  
 ○郵便振替 01740-7-128775

**再稼働の責任者は誰か?**  
 安倍総理大臣は「審査に合格した原発から再稼働させる」としましたが、原子力規制委員会は「審査合格は再稼働してよい」と言うことではない」としています。結果的に(?)再稼働は電力会の独自判断になります。このような無責任な政治が、国の存亡に関わる大事故を引き寄せます。塗炭の苦しみを受けるのは国民です。

**川内原発再稼働阻止 旅費カンパを!**  
 ○加入者名  
 原発現地へ行く会  
 ○郵便振替  
 00190-0-361095

# ガラス固化により封じ込められたセシウム137の放射エネルギーがわからないとは！！

## ガラス固化試験は廃液を実際に使用したのだろうか？



### 公表データ

- 2013年2月1日 政府答弁書  
廃液 約202m<sup>3</sup>  
セシウム137 520ペタベクレル
- 2013年7月 日本原燃報告書  
ガラス固化体 25体を製造。この25体は推定13m<sup>3</sup> (2005425 衆議院でのガラス固化体についての政府答弁から)
- 2015年3月4日 政府答弁書  
廃液 約223m<sup>3</sup>  
セシウム137 520ペタベクレル

私達は、六ヶ所再処理工場の高レベル放射性廃液について、「ガラス固化したはずなのに、高レベル放射性廃液の量が増え、何故か放射能の総量は全く変わらない」という政府答弁書の数字について説明を求めています。前回の政府答弁書では高レベル廃液量に「ガラス固化工程の貯槽にある高レベル廃液」は加算していません。「その」加算していない廃液」を使用しガラス固化した」との回答でした。七月二十九日、川田龍平参議院議員のもとに、四回目の政府答弁書が届きました。本当にガラス固化試験は実廃液が使用されたのでしょうか。

四回目の政府答弁書の内容は次のようなものです。

#### 政府答弁書要旨

- ① 貯蔵設備に貯蔵していた”高レベル廃液の量を、お尋ねの「高レベル廃液の量」として答弁した。
- ② 放射エネルギーが変わらなかつたのは、放射性物質を含む液体状物質を気体状物質と水に接触させ回収し、濃縮した上で高レベル廃液を貯蔵設備に移送している。これにより「定常的」に高レベル廃液が発生しているためである。
- ③ 「ガラス固化待ちの高レベル廃液の量」は攪拌を行う設備によって常に変動するものであるから具体的な

数字を示すことが出来ない。  
④ セシウム137の量については固化設備内の高レベル廃液の核種ごとの放射エネルギーの分析を行っていないので具体的な数字は示せない。  
⑤ 高レベル廃液は法によって規定された設計施設で保管しているため災害防止には支障がない。

#### 何故高レベル廃液の全体量を答えられないのか

① について、安全管理のための責任ある答は、超危険な物質が六ヶ所再処理工場に全体でいくらあ

◎ホームページ：再処理・岩手の環境  
<http://sanriku.my.coocan.jp/150728Q&A206.pdf> 「廃液・ガラス固化に関する質問主意書(再々々質問)と答弁書」を参照ください。

り、どのような状況で安全化を図っているかを公知することです。なぜ、固化工程の「ガラス固化を待つ廃液」を除外して答えたのか。私達は、放射性廃液をガラス固化することによる安定化の進捗を数字として知りたいのです。

#### 貯蔵設備の放射エネルギーが二年后も何故同じなのか？

②は、貯蔵設備の廃液に含まれるセシウム137の放射エネルギーが、何故二年后も全く同じ五二〇ペタベクレルなのかという問への答です。(貯蔵設備部分の廃液は取りあえずガラス固化の対象ではない) この「廃液の崩壊熱で放射エネルギーが蒸発し、それを回収するために『定常的』に廃液が発生しこれを濃縮し高レベル廃液として戻すから(放射エネルギーは同じ)」との言い分です。常時冷却されている貯槽からセシウム(イオン)は蒸発しません。考えられるのはガラス溶解炉からだけです。この間二五体の固化体が製造され約一三立方メートルの廃液が使用されたと考えられます。この場合含有セシウムの約六割が蒸発しなければ放射エネルギーがあまりありません。あり得ないことです。

### 民主主義ってこれだ！ 国会前抗議集會に参加して



二〇一五年七月一五・一六日の、歴史に残るであろう安保法制強行採決の光景をTVで見ると驚愕し、何かしなければとの思いに駆り立てられ、一七日(金)夜、首相官邸前と国会前の抗議集會に参加して来ました。「無力な自分が一人デモに行つて何の意味があるのか？」と自問しながら、夜七時。地下鉄を降り地上に出ると、デモの人たちを取り囲む機動隊の大変な動員数と、官邸前と国会前の交差点に据えられデモの隊列を分断する巨大なクレ

ーンに圧倒されそう。その中でSEALDsと呼ばれる若い学生たちが必死に声を上げていました。「強行採決絶対反対!」「戦争反対!」「安倍は辞めろ!」。安倍政権を許した私たち大人の責任を痛烈に感じました。彼らに交じって大勢の年配の方たちも一緒に声を上げていました。初めて聞くシュプレヒコールがありました。「show me what democracy looks like!」「this is what democracy looks like!」「民主主義って何だ!」「民主主義ってこれだ!」「世界中でデモの際に使われるシュプレヒコールだそうです。皆で声が枯れるまで叫んで、終わったのが夜十一時でした。今盛岡に帰宅し、耳に残るあのシュプレヒコールを思い出して、私は皆さんに伝えてお伝えしたいと思えます。「選挙に行くようにデモに行こう!」「民主主義ってこれだ!」 (川)

#### 本当にガラス固化試験は行われたのか？

④での「ガラス固化した高レベル廃液中のセシウム137等の濃度を調べていない」との答は、アクティ試験ガラス固化製造の目的からは、考えられない答弁です。「フランスからの返還ガラス固化体一本あたりに含まれる放射エネルギーは、固化対象と

なる廃液の分析結果と廃液供給量とで求める」と原子力学会誌にありました。なぜ六ヶ所再処理工場ではこの当然のことが行われていないのでしょうか。ガラス固化が実廃液を用い本場になされたのか疑念が増すばかりです。問題点を明らかにしさらに追及します。(永田)